

令和4年度
事業報告書



社会福祉法人 佐伯市社会福祉協議会

令和4年度 事業報告（概要）

基本理念

佐伯市社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な団体として、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進します。

総 括

本市の住民生活の問題には、少子高齢化や過疎化の進行などによる、認知症高齢者の増加、住民同士のつながりの希薄化や経済的困窮などを背景とした社会的孤立や子どもへの貧困など、地域における福祉課題が複雑多様化、深刻化する中、既存のサービスだけでは対応できない、いわゆる「制度の狭間」で支援を必要としている人たちが増えている。また、新型コロナウイルスの感染拡大により、私たちの日常生活は大きく変わり、地域の福祉活動にも大きな影響を及ぼし続けているなか、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を推進するため、令和4年度の事業に取り組んだ。

法人運営においては、適切な法人運営を行うため理事会、評議員会を随時開催し、各種事業の進捗状況や重点事業の内容説明等を行うとともに、諸規程の改正などを行った。また、大規模災害発生時や感染症流行時に非常時優先業務を遂行するうえで必要な資源の準備や対応方針・手段を定めたBCP（事業継続計画）を策定した。本部事務所については、引き続き令和5年度から5年間の佐伯市社会福祉センターの指定管理者の選定を受けた。

地域福祉事業においては、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう「様々な地域課題(困りごと)」の解決に向けて地域住民や関係団体とともにその問題を共有し、問題解決に取り組んだ。また、生活福祉資金特例貸付制度などを通じて顕在化した生活困窮に陥っている方々に対して、日常生活への援助や食材支援を継続して行うなど、きめ細かい支援を行った。

在宅福祉事業においては、効率的に事業を展開するため、居宅介護支援事業所の統廃合を行った。各介護保険事業所については引き続き経常経費の節減に努めながら、介護サービスの質の向上に努めた。また、「ばんじょう」「あまべ」の地域包括支援センターも相談件数が増大する中、関係機関と連携し、高齢者の相談解決に努めた。

施設福祉事業の佐伯市特別養護老人ホーム「豊寿苑」においては、新型コロナウイルスによるクラスターが発生したが、これまでの施設運営のノウハウとマニュアルを活かし、被害を最小限に食い止めることができた。苑内行事としては、盆踊り・花火大会や家族交流会等の大きなイベントは中止となったが、入所者が快適な生活が送れるよう各フロアで季節にちなんだ行事を実施し、入所者へのサービス提供に努めた。

以下に令和4年度の具体的各種事業取り組み状況について報告する。

<総務課>

1. 理事会・評議員会等の運営

(1) 理事会

会議名	期日	議題
第1回理事会	6月2日	令和3年度事業報告について 令和3年度収支決算について 令和4年度第1号収支補正予算(案)について 評議員選任候補者の推薦について 令和4年度第1回評議員会の開催について 令和4年度第1回評議員選任・解任委員会の開催について
第2回理事会	6月20日	副会長の選任について
第3回理事会	10月6日	令和4年度第2号収支補正予算(案)について 事務処理規程等の一部改正(案)について 育児・介護休業等に関する規程の一部改正(案)について 令和4年度第2回評議員会の開催について
第4回理事会	2月27日	令和4年度第3号収支補正予算(案)について 令和5年度事業計画(案)について 令和5年度当初収支予算(案)について 積立金設置及び運営規程の一部改正(案)について 理事・監事・評議員選任規程の一部改正(案)について 評議員選任候補者の推薦について 役員等賠償責任保険契約について 令和4年度第3回評議員会の開催について 令和4年度第2回評議員選任解任委員会の開催について 事務局長の選任(案)について 豊寿苑施設長の選任(案)について 評議員選任解任委員の選任(案)について

(2) 評議員会

会議名	期日	議題
第1回評議員会	6月20日	令和3年度事業報告について 令和3年度収支決算について 令和4年度第1号収支補正予算(案)について 理事の選任について
第2回評議員会	10月17日	令和4年度第2号収支補正予算(案)について
第3回評議員会	3月13日	令和4年度第3号収支補正予算(案)について 令和5年度事業計画(案)について 令和5年度当初収支予算(案)について 積立金設置及び運営規程の一部改正(案)について

(3) 監事による監査

監査名	期日	検査の範囲
内部監査	5月20日	例月出納監査(1月・2月・3月分)
決算監査	5月20日	令和3年度 会計決算監査
内部監査	8月18日	例月出納監査(4月・5月・6月分)
内部監査	11月15日	例月出納監査(7月・8月・9月分)
内部監査	2月15日	例月出納監査(10月・11月・12月分)

(4) 評議員選任・解任委員会

第1回評議員選任・解任委員会	6月21日	評議員の選任について
第2回評議員選任・解任委員会	3月14日	評議員の選任について

(5) 役員視察研修

期日: 令和4年10月25日(火)～26日(水)

視察先: 中津市社会福祉協議会・大分市社会福祉協議会・・・各社協事業の取り組みについて

参加者: 役員10名・事務局3名

2 財務運営・管理

事業計画・予算の立案、執行管理及び事業量を把握し、費用対効果を意識した予算ヒアリングに努めた。

3 広報戦略による自主財源確保の取り組み

社協会費の状況

令和4年度 戸別会費 内訳表

区分	金額 (円)			口数 (件)			納入率 (%)		
	2年度	3年度	4年度	2年度	3年度	4年度	2年度	3年度	4年度
佐伯	3,879,450	3,955,310	3,705,041	7,758	7,895	7,409	38.39	39.17	37.19
上浦	336,000	333,000	303,500	672	666	607	78.60	79.00	72.52
弥生	878,800	831,500	812,200	1,757	1,663	1,624	70.14	67.30	64.01
本匠	231,500	225,500	220,000	463	451	440	77.17	77.76	75.47
宇目	449,200	447,700	429,000	898	896	858	74.77	74.42	71.50
直川	320,500	324,900	316,510	641	650	633	88.41	90.03	90.30
鶴見	451,700	446,000	436,000	903	892	872	61.35	67.02	66.36
米水津	306,800	308,570	271,500	613	617	543	78.19	78.00	71.54
蒲江	783,615	714,250	612,590	1,567	1,428	1,225	51.92	46.17	41.79
合計	7,637,565	7,586,730	7,106,341	15,272	15,158	14,211	48.68	48.60	46.16

区 分	金 額 (円)			口 数 (件)		
	2年度	3年度	4年度	2年度	3年度	4年度
賛助会員	155,000	144,000	129,000	310	288	258
団体会員	511,000	659,000	807,000	1,022	1,318	1,614

4 リスク管理やコンプライアンスに関する管理体制の整備

各種関係法令改定に伴い、関連する事業の運営体制の整備を行い、職員に内容の周知を図り、公共的使命と社会的責任の重さに鑑み、法令等を遵守する取り組みを行った。

5 計画的な採用・人事考課等の人事管理

- 事業規模に応じた適正な人員、職務に必要な有資格者を確保するため職員採用を行った。
- 事業の円滑かつ効率的な運営のため、適切な雇用管理を進めた。

6 研修・能力開発等の計画的な人材育成

階層別(新任職員・介護従事者・管理職)の職場内研修を通じて、職員の自己啓発を図りながら、業務に対する「意欲の向上」、「能力開発」に努めた。

- 新任職員研修(5日間)
- 現任管理職研修(産後パパ育休・メンタルヘルスケア)
- 新任管理職研修(3日間)
- 介護従事者全体研修(人権・認知症)

7 労働法制に基づいた労務管理

- 法改正による「育児・介護休業等に関する規程」の改正
- 働き方改革の推進、定期健診の実施
- 職員の安全と衛生管理のための衛生委員会の開催(豊寿苑)

8 BCP(事業継続計画)の策定

大規模災害や感染症流行時においても、事業を継続実施していくために、本会の業務執行体制や平時における備え等について定めたBCP計画を策定した。

9 佐伯市社会福祉センターの管理・運営(指定管理事業)

地域住民の福祉及び健康の増進及び意識の高揚を図ることを目的に適切なセンターの管理運営を行った。

<地域福祉課>

地域福祉活動計画に関連する社協の具体的な取り組み

☆重点事業

- (1) 地域の課題に対して、不足するサービス構築を目指し、住民自らがお互いに支えあえる地域づくりを進める。
- (2) 生活困窮者の相談体制を強化し、自立に繋がる支援を多機関協働により行う。
- (3) 成年後見センターの運営を行い、権利擁護体制を充実させる。

[I] やさしい心と人づくり

1 地域の交流・ふれあいの推進

(1) ふれあい・いきいきサロン事業の推進（市受託事業）

○高齢者の介護予防の推進を図るとともに、引きこもりを予防し社会参加が保てるよう、レクリエーションや健康体操を取り入れて実施した。

・登録数（148ヶ所） 休止（7ヶ所） 廃止（3ヶ所）

支部名	佐伯	上浦	弥生	本匠	宇目	直川	鶴見	米水津	蒲江
ヶ所数	48	2	29	7	16	8	11	8	19

○ふれあい・いきいきサロン関係者の研修会

サロンを支える支援者の介護予防の知識習得、レクリエーションメニューの充実を図ることを目的に研修会を実施した。

① サロン協力者研修会（年間2回）

・佐伯市の介護保険の現状、廃用予防、認知症予防について学習会を行った。

② サロン支援員・お助け隊研修会（年間7回）

・高齢者に生じやすい日常生活上の課題と改善点、重点的に取り組むべき体操や注意点など現場で取り組める健康プログラムについて継続学習を行った。

○体力測定の実施 支援型サロン：93サロン 自主型サロン：8サロン

- ・サロンの効果と参加者の健康状態を把握するため、体力測定の実施。
- ・基本チェックリストの活用を行った。

(2) 子育てサロンの運営支援

○子育て中の保護者の情報交換や集いの場として、情報共有や活動支援を行った。

<サロン登録数>

支部名	佐伯	米水津	蒲江	弥生	合計
登録数	6	1	1	1	9

○子育て交流会（年間1回）

・発達障害についての学習を行った。又、コロナ禍での各サロンの取り組み等について情報交換を図った。

(3) 子ども食堂立ち上げ・運営支援

○地域の方々からの食材の寄付を子ども食堂に分配する等、後方支援を行った。

○子育て世代だけでなく、様々な世代がかかわりを持ち、地域住民の『居場所』、『交流の場』として「つぼみ食堂」が活用できるよう支援した。

場 所：直川（中道地区集会所） 第1土曜日

(4) 児童館・放課後児童クラブの運営（指定管理事業）

①児童館の管理運営・・・・・・・・（佐伯、上浦、蒲江）

〃（地域子育て拠点事業）・・・・・・・・（上浦、蒲江）

②放課後児童クラブの運営・・・・・・・・（上浦、蒲江）

児童館・地域子育て支援拠点事業、放課後児童クラブの利用人数			
	佐伯児童館	上浦児童館	蒲江児童館
① 児童館 延べ人数	6,937	2,142	2,345
内、地域子育て支援拠点事業 延べ人数		(1,454)	(1,667)
② 放課後児童クラブ 延べ人数		1,102	7,319
合 計(①+②)	6,937	3,244	9,664

(5) 地域行事への支援

○地域で行われる行事等への事業費の助成や必要な物品の貸し出しを行った。

①地区社協活動への助成や人的物的支援

20 地区社協への助成 3,898,500 円

地区社協	主 な 活 動 内 容
佐 伯	さいき元気っ子クラブ支援、門松づくり (コロナ禍により中止) グラウンドゴルフ大会、配食サービス
佐伯東	広報誌「きずな」発行、配食サービス、視察研修 (コロナ禍により中止) ほのぼの作品展、ほのぼのお月見会
渡町台	配食サービス、会報「ときめき」発行 (コロナ禍により中止) ひまわり文庫まつり、とまちっこ子どもまつり ふれあい公民館まつり
鶴 岡	福祉教室、トトロの広場事業、シルバーと子どもの集い、サロン支援 (コロナ禍により中止) 視察研修
上堅田	福祉研修会、ふれあい広場(展示・グラウンドゴルフ大会)、給食サービス (コロナ禍により中止) 健康づくり歩こう会、こども祭り
大入島	健康づくり大会、災害ボランティア研修会、愛のおたより、給食サービス (コロナ禍により中止) 視察研修
八 幡	給食サービス (コロナ禍により中止) 社協・健康まつり
西上浦	視察研修、ひな弁当配布 (コロナ禍により中止) ふれあい夏祭り、西上浦健康まつり、彦嶽登山大会
下堅田	ふるさとふれあい広場(展示のみ)、配食サービス、愛の正月もち配布 (コロナ禍により中止) 視察研修、鮎かけの集い、ふれあい料理教室
青 山	配食サービス、青山女性百人会ひな祝いサービス、黒沢ウォーク 青山地区教育ネット夏季プログラム
木 立	配食サービス、ウォーキング大会、元越山登山会、子育てサロンクリスマス会 (コロナ禍により中止) 盆踊り大会、敬老会、ふれあい公民館まつり
灘	ふれあい食の事業、給食サービス、子ども会活動、暮らしの書道教室 「姫楽の会」の活動、健康づくり体操

	(コロナ禍により中止) グラウンドゴルフ大会、ミニバレーボール大会
上 浦	ふれあい交流グラウンドゴルフ・ペタンク大会、生活支援ボランティア講座、防災研修
弥 生	こども園との合同芋掘り会、防災頭巾作り、独居・高齢者世帯クリスマスプレゼント配布事業、グラウンドゴルフ大会、視察研修、独居・高齢者世帯弁当配布事業、地区社協だより発行、高齢者ボランティア感謝状授与
本 匠	歳末もちつき事業、ふれあい配食サービス事業、学校整備事業・学校給食におけるの食育推進への補助、みずぐるまの活動支援、地区社協だより発行
宇 目	ふれあいの集い、あんしん見守り隊啓発活動、地区社協だより発行、宇目つくし隊支えあい活動の支援、地区納入袋提供、チャイルドシート・車椅子の貸出事業
直 川	高齢者クリスマス配食の配達支援、絵手紙配付事業(暑中・年賀)、地区社協だより発行、小学生とのお茶摘み交流体験、避難所訓練への参加、三世代交流スポーツ大会、見守り兼買い物支援
鶴 見	地区スポーツ大会助成事業、歳末福祉もちつき大会、住民たすけあいサービスの実施(生活支援サービス・さざなみ支援)、地域交流事業
米水津	ふれあいスポーツ大会、生活支援サービス(たすけ愛隊)、ふれあい配食サービスの支援
蒲 江	福祉関係者研修会、蒲江安全安心マンボウ隊(見守り活動)クリスマスプレゼント配布事業

②イベント用品や防災訓練備品等の貸し出し

○地区社協のイベントや防災訓練等に貸出し

	綿菓子機	かき氷機	ポップコーン機	防災訓練備品	計
貸出件数	5	6	2	0	13

○レクリエーション用品の貸し出し

サロン、子育てサロン、地区社協のイベント等で活用した。

	佐伯	米水津	計
貸出件数	34	2	36

2 福祉意識の醸成

(1) 社協ちびっこフェスティバル

- ・佐伯市仲町商店街にて開催。関係者を含め約350名の来場者があった。オープニングイベント・福祉体験・防災クイズラリー・遊びのコーナーなどを通じて、多くの子ども達が貴重な体験をすることができた。

(2) 福祉体験プログラムの実施

学校での福祉体験教室の開催 11校 参加者311名

佐伯城南中 車いす体験、アイマスク体験

佐伯南中 車いす体験、アイマスク体験、高齢者福祉について(講話)

彦陽中 車いす体験、アイマスク体験

青山小 手話体験

東雲中 車いす体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験、盲導犬とのふれあい

切畑小	車いす体験、高齢者疑似体験
宇目緑豊中	フラワーアレンジメント体験（高齢者施設へ寄贈）
直川小	車いす体験
鶴見中	高齢者疑似体験、高齢者福祉について（講話）
松浦小	手話体験、車いすバスケット体験、盲導犬とのふれあい
米水津中	高齢者疑似体験、高齢者福祉について（講話）、社協とは（講話）

(3) 福祉スクールの開催（弥生支部）

- ・介護保険制度や地域の助けあいの仕組みについて若い世代に関心をもっていただくことを目的に、子育てサロンの保護者を対象に生活支援ボランティアの協力を得て、講話などを行った。参加者：乳幼児・保護者(7組)

(4) その他

○社協事業のPRと地域課題について住民との意見交換を行った。

- ・地区社協の4つの部会を開催（弥生支部）13回開催 延べ95名参加
- ・寄り合い座談会の開催（米水津支部）小浦地区13名
- ・小地域での懇談会の開催（蒲江支部）丸市尾地区5名

○第17回 大分県地域福祉推進大会への参加

- ・日 時：10月14日（金）
- ・場 所：別府市「ビーコンプラザ」
- ・表 彰

県知事表彰	県知事賞	県知事感謝状	県社協会長表彰	県共募会長感謝状	県老連会長表彰
該当なし	1団体 個人1名	1団体 個人24名	個人6名	5団体	1団体 個人3名

○ひとしづくちゃんぬりえコンテスト（2回）

- ・コロナ禍でもできる親子イベントとして、市内4児童館協力のもと親子の触れ合いと福祉意識の醸成を図った。

○第9回 佐伯市社会福祉大会の開催

- ・長年にわたり社会福祉事業へ功績のあった方々への表彰及び感謝状の贈呈と、成年後見制度の普及啓発を目的とした基調講演を行った。
- ・日 時：12月2日（金）
- ・場 所：さいき城山桜ホール
- ・表彰

民生委員・児童委員特別功労者(表彰)	社会福祉事業関係功労者表彰	社会福祉事業協力者感謝状
個人 2名	個人 1名	8団体

3 ボランティア・NPO等の育成

(1) ボランティアの活動啓発・支援

- ①ボランティアセンターを設置し、コーディネーターを配置した。

②ボランティア団体・保険加入状況

(令和5年3月31日現在)

社協で把握している団体数	51 団体 ※ 内ボランティア連絡協議会加入 18 団体	
ボランティア保険加入状況	1,973 名	活動者の傷害、賠償補償保険
ボランティア行事用保険加入状況	41 件	行事ごとに加入するボランティア保険
事故対応	1 件	活動中の事故に対する保険申請
福祉サービス総合補償加入状況	10 件	佐伯市社協、大入島地区社協、空の公園と景観を守る会、米水津地区社協(たすけ愛隊)、本匠みずぐるま、畑野浦生活支援隊、床木とことこ隊、ちょこちょこマーチ、鶴見地区社協(鶴鶴クラブ)直川地域協力隊
送迎サービス補償加入状況	1 件	直川

○相談・登録・斡旋事業

ボランティアに関する相談・支援と活動機会の提供及び、コーディネートを行った。

- ・ボランティアの募集 62 件
- ・ボランティア活動のマッチング 1 件
- ・上記以外の相談受付、情報提供 9 件

○収集ボランティア、手芸ボランティア活動の推進

①発展途上国への医療支援等のために使用済み切手等を収集した。

②手芸ボランティア活動は、毎月2回小物等を作成した。

- ・シトラスリボン・巾着袋(サロン)・ストレッチ棒(サロン)

○佐伯市ボランティア連絡協議会への事務支援

佐伯市ボランティア連絡協議会に対して、その事務局を担当するとともに総会や理事会、研修会等運営に関する支援を行った。

- ・総会、理事会(年3回)、交流会

○ボランティアに関する広報・啓発

社協ホームページや社協だより等を通じてボランティア関連情報を随時掲載した。

(2) 生活支援ボランティア講座の開催(地域づくり大作戦)

○高齢者の「ちょっとした困りごと」を支えるボランティアの養成を行った。

- ・「話し相手がない」「話を聴いてほしい」という地域の声を受け、傾聴ボランティア養成講座を実施(全2回 18名参加)実際に6ケースのマッチングを行った。
- ・生活支援ボランティアとして活動をしている方に対し、他地区の活動状況報告や悩みの解決策を検討した。

(3) ボランティア手帳の発行

- 中学生、高校生ボランティア活動啓発事業の推進
 - ・希望する中学生、高校生にボランティア手帳を配布した。

(4) NPO・企業ボランティア団体との協働の推進

- ・企業ボランティア団体からボランティアについての相談を受けた。

(5) 夏のボランティア体験事業

夏休み期間のボランティア体験を福祉施設と協力し、学生の受け入れ対応を行い、ボランティア意識の高揚ときっかけづくりを支援した。(176名 28施設の協力)

(6) 各種ボランティア講座の開催

- ・傾聴ボランティア講座の開催 (再掲)

4 関係団体の活動促進

(1) 民生委員児童委員協議会の活動促進

○住民に一番近い立場で活動する民生委員児童委員の活動支援を行った。

① 市民生委員児童委員協議会の事務支援

② 民生委員児童委員の活動支援

- ・緊急キットの更新作業、PR活動
- ・おめでとう訪問事業 (主任児童委員の支援) 229件

(2) ボランティア連絡協議会の支援

○総会、理事会3回、交流会 (再掲)

(3) 地区社協の活動支援

○地区社協会長、事務局長会議の開催

(4) 老人クラブ連合会の支援 (市受託事業)

①佐伯市老人クラブ連合会 66クラブ 2,056名加入

- ・理事会 4回 評議員会 1回
- ・市老連スポーツ大会 9月8日 弥生スポーツ公園 180名
- ・佐伯市老人クラブ大会 11月17日 さいき城山桜ホール 200名参加

区分	市老連会長表彰 会員功労賞	米寿	白寿
受賞者数	25名	77名	2名

②佐伯市老人クラブ連合会佐伯支部 16クラブ 290名加入

- ・理事会 4回 会長会 4回
- ・スポーツ大会 番匠体育館 130名参加

・交流会 17名参加

[Ⅱ] 支えあう地域づくり

1 地域のネットワークづくりと支えあい活動の促進

(1) 地域福祉ネットワーク事業の推進

① 緊急情報キット連絡会による情報共有と連携の強化

・佐伯警察署、佐伯消防署、佐伯市民児協、行政機関との緊急情報キット活用事例の情報共有を行い、必要性を再確認した。7,958世帯

② 災害ボランティアネットワーク協議会の開催

③ 生活困窮者支援連絡会議の開催

④ 福祉推進員による見守り活動の推進（蒲江支部）

⑤ 市コミュニティ創生課との連携による小地域の課題共有と課題解決に向けた住民主体の会議（話す会・考える会）への職員派遣

・青山・西上浦・宇目・直川、渡町台、大入島、鶴見、米水津

(2) 地域づくり大作戦（市受託事業：生活支援体制整備事業）

① 生活支援コーディネーターの配置

・第1層（全市対象）1名、第2層（旧市内、旧町村）17名

② 協議体の取り組み

○第1層協議体（高齢者にやさしい地域づくり協議会）

・8月 令和3年度報告、令和4年度の取り組みについて（書面報告）
・2月6日 令和4年度事業報告について、今後の取り組みについて

○第2層協議体の開催

・高齢者宅草刈りについて協議。区長会役員会で承認を得て、開催が決定。
地区のクリーンアップ後、地区内たすけあい活動として実施（弥生地区 1回）

③ 地域ケア会議への参加

・年12回参加し、地域課題の把握に努めた。

④ ケアマネジメント支援会議への参加

・年24回参加し、地域課題の把握に努め、多職種専門職との繋がり構築に努めた。

⑤ 生活支援ボランティアの立ち上げ

・生活支援ボランティア「車地区おたすけ愛隊」の立ち上げ支援（西上浦地区）
11月から始動。草刈りや家具の移動、窓ふき等の家事支援を行う。

・生活支援ボランティア「ちょこちょこマーチ」の立ち上げ支援（弥生地区）
7月から始動。包括等と連携し、通院介助や家事支援を行う。（53件）

⑥ 生活支援サービスの実施（支援）

・高齢者等の日常生活における「ちょっとした困りごと」への支援として、
住民主体による生活支援サービスを実施した。

青山1件 木立18件 西上浦1件 弥生59件 本匠24件 宇目21件
鶴見67件 米水津59件 蒲江48件（畑野浦40件 竹野浦河内8件）

⑦ 地域拠点の支援：佐伯・弥生地区「チェアー」

・地域の居場所として、「チェアー健康体操」の運営を支援した。

女島 月 2 回 登録者 15 名・床木 月 4 回 登録者 10 名

⑧地域拠点の支援：鶴見地区「さぎなみ」

- ・誰もが寄れる地域の拠点として、鶴鶴クラブ（生活支援ボランティア）が中心となり、さぎなみの運営を支援した。参加者 延べ 315 名 支援者 延べ 223 名

⑨地域資源マップ・社会資源リストの更新

- ・社会資源についてホームページへ掲載し、更新作業を行った。
- ・ふれあいいきいきサロンの実施会場等、基本情報を更新した。

(3) フードバンクおおいたの協力

- ・家庭で消費されない食料品の寄附を受け生活困窮者の支援に活用した。
利用延べ人数：216 名
- ・フードドライブを 2 回実施し、お米・缶詰・海苔・調味料等を集めることができた。

(4) 共同募金委員会の運営

- 佐伯市共同募金委員会事務局を担い、地域福祉活動の財源となる共同募金（赤い羽根募金、歳末募金）の募金活動を行った。

①赤い羽根共同募金の実績

項目	件数	金額
戸別募金	14,351	6,165,342
街頭募金	1	21,151
法人募金	2	5,147
職域募金(バッチ募金等)	136	58,478
その他(預金利息等)	4	5,506
募金合計	14,494	6,255,624

※ 募金総額の概ね 60%が、令和 5 年度地域福祉事業の財源として助成される。

②歳末たすけあい募金の実績

項目	件数	金額
戸別募金	19,863	3,679,965
法人募金	6	63,000
学校募金	5	157,276
職域募金	4	23,421
その他(預金利息等)	2	75,327
募金合計	19,880	3,998,989

○共同募金運営委員会の開催

	期日	議題
第 1 回	6 月 24 日	令和 3 年度共同募金報告 令和 4 年度共同募金目標額について 令和 4 年度歳末たすけあい募金配分指針について

第2回	11月29日	令和4年度赤い羽根募金中間報告について 歳末たすけあい募金本部・支部助成について 歳末たすけあい募金公募事業助成の審査について
-----	--------	---

- ・運営委員会で助成方針を協議し、助成申請を公募し、団体助成・歳末事業に重点を置き、活動助成を行った。

項目	件数	金額
福祉団体助成	85	3,879,000
歳末募金配分経費		297,000
助成合計	85	4,176,000

2 活動拠点の確保

(1) 佐伯市社会福祉センター・地域福祉センターの運営（指定管理事業）

○ボランティア、健康づくりや生きがいづくり等、各種団体の研修機会の場所として、活動拠点の運営管理を行った。

・佐伯市社会福祉センター	1,506回	10,556人
・上浦地域福祉センター	9回	92人
・直川地域福祉センター	57回	879人

(2) 地域の寄り合い所の確保・運営支援（地域づくり大作戦）

○高齢者（地域住民）の居場所・地域拠点の支援

- ・高齢者と中学生の居場所づくり「ふれあいハウス」の支援
使われていない幼稚園舎を活用し、中学校、振興局、ボランティア、社協が協力し新たな居場所を立ち上げた。3回実施(直川支部)
- ・誰もが寄れる地域の拠点として、鶴鶴クラブ(生活支援ボランティア)が運営する「さざなみ」の活動を支援した。週1回 延べ利用者315名(鶴見支部)
- ・体操教室(通いの場)年40回 参加者280名(鶴見支部)
- ・「丸市尾よってみらんかい」を立ち上げ、丸市尾地区在住の一人暮らしの方を対象に12月に集いの場を開催し親睦を図った。参加者10名(蒲江支部)

(3) ボランティアの拠点の確保

- ・手芸ボランティアへの活動場所の提供(毎月第1.3木曜)
- ・佐伯市ボラ連の理事会や会議などに会場提供

[Ⅲ] サービスを利用しやすい仕組みづくり

1 情報提供の充実

(1) 広報等による情報提供

○社協の福祉活動や地域の福祉活動を定期的に広報した。

- ①社協だよりの発行(全戸配布・年間5回 発行部数31,750部/回)
- ②ホームページ・フェイスブック・インスタグラムによる情報発信

地域住民に社協活動をより詳しく知ってもらい、新しい福祉情報を提供するため、ホームページの更新・管理運営を行った。アクセス回数 18,971回

③ケーブルテレビによる事業発信（随時）

④「ひとしずくちゃん」による広報

- ・イメージキャラクター「ひとしずくちゃん」による社協PR
- ・社協事業やイベント・児童館などに出向き、地域住民とのふれあいや広報活動を行った。
- ・ひとしずくちゃん自動販売機6台

2 相談支援体制の充実

(1) 弁護士による無料法律相談会 年間15回 99件

(2) 民生委員による心配ごと相談会

- ・佐伯：6回 2件
- ・蒲江：5回 5件

(3) 生活困窮者自立支援事業（市受託事業）

①生活困窮者自立支援事業

ア. 生活に困窮している方に、自立した生活ができるように継続的な相談支援を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規相談	24	21	18	17	25	28	9	9	14	13	9	19	206
継続相談	189	207	228	258	222	228	184	198	218	215	210	188	2,545
プラン数	3	1	4	3	2	3	5	5	4	4	6	7	47
就労者数	1	2	0	0	0	0	0	1	0	4	1	0	9

イ. 支援調整会議・支援連絡会議の開催

- ・支援調整会議を開催しプランについて協議し、関係機関との連携に努めた。
- 支援調整会議：12回 支援連絡会議：1回

ウ. 就労支援・ハローワークとの連携

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
履歴書添削	1	0	0	1	0	0	2	0	0	2	3	0	9
ハローワーク 同行支援	1	0	0	1	0	1	1	1	1	0	1	0	7

エ. 愛のひとしずく事業による食料品等の支援

- ・歳末たすけあい募金の助成を受け、相談過程における生活困窮者に商品券を支給した。 利用対象者：59名 総額：153,000円

オ. フードバンクを活用した食料支援

- ・相談過程において、食べる物に困っている世帯に当面の食料品を支給した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用延べ人数	17	17	19	21	10	17	18	21	15	21	20	20	216
提供した食品	米、缶詰、レトルト食品、カップ麺、即席麺等の食料品												

カ. きずなギフトの実施

- ・相談者の自宅を訪問し米や日用品等を配布することで、自宅での生活を把握生活不安を軽減することを目的として実施した。 利用延べ人数：44名

キ. 衣類バンク事業による支援

- ・相談者の清潔保持や就職支援（面接）等で必要とされる衣類を支給した。（1名）

ク. ほっとc a f eの開催

- ・相談過程におけるひきこもりや就労に支援が必要な方々を対象にカフェを開催生活リズムの改善、コミュニケーション能力の育成、集いの場の提供、ひきこもりからの脱却などを目的として実施した。 開催：20回 延べ人数：64名

ケ. きずなファームの実施

- ・民間所有者の畑の一部を無償で借り、就労体験や居場所づくりを目的として農業体験を実施した。そこで収穫した野菜を使って7月に「キッチンきずな（調理実習）」でカレーづくりを行った。
※ ジャがいも、人参、タマネギ、さつまいも、大根、ほうれん草等の栽培

コ. きずなマーケットの実施

- ・きずなファーム参加者を対象に、就労意欲の向上を目的として、きずなファームで収穫した野菜の販売体験を行った。 実施回数：6回

サ. ひきこもり脱出作戦会議の開催

- ・市内の精神科医及び障がい者相談支援センターと連携し、ひきこもり者へのアプローチ方法を検討した。 開催：2回（延べ26件）

シ. ひきこもり者定期巡回訪問の実施

- ・ひきこもり状態にある方やそのご家族の状況を把握し、つながりを持ち続けることを目的として、定期的に自宅訪問を行った。 延べ48回

ス. きずなレターの送付

- ・ひきこもり者や就労準備段階の人たちを対象に、「ほっとカフェ」や「きずなファーム」の案内や年賀状等、手書きのお便りを郵送し、アプローチを行った。 延べ送付者数：211名

セ. ワークチャレンジ事業

- ・就労した経験のない方や職業生活にブランクのある方などを対象に就労意欲の向上や自立をはかるために就労体験を行った。 延べ参加人数：18名

ソ. おおいたくらしサポート事業の連携

- ・市内の「おおいたくらしサポート事業」を実施する施設と協働して「おおいたくらしサポート事業佐伯地区連絡会議」を開催した。 開催：1回（3件）

タ. 広報活動

- ・広報用ポケットティッシュの作成 2,000個
- ・「社協だより」に毎号掲載（年5回）
- ・ホームページへの佐伯市くらしサポートセンター「きずな」活動状況の掲載

（4）社協職員による総合相談事業

○社協職員による保健・福祉全般にかかわるワンストップの相談体制

支部	佐伯	上浦	弥生	本匠	宇目	直川	鶴見	米水津	蒲江	合計
件数	78	13	16	9	9	19	36	23	23	226

○相談内容別件数

相談内容	件数	相談内容	件数
生計問題	26	相続・財産問題	7
年金問題	2	事故問題	
金銭問題(貸借・多重債務など)	6	人権相談	
離職による相談		児童福祉関係	6
住宅問題	4	教育・青少年関係	
家族問題	4	障がい者・児関係	2
結婚問題		老人福祉関係	93
離婚問題		父子・母子関係	
不貞行為・慰謝料		苦情相談	1
健康・医療・介護問題	54	その他	16
近隣トラブル・境界線	5	合計	226

（5）資金貸付事業

①生活福祉資金貸付事業の実施

- ・低所得者等への資金の貸付

資金種類	申請件数	決定	不承認	貸付決定金額
総合支援資金	1	1	0	270,000
福祉資金・福祉費	4	4	0	970,000
福祉資金・緊急小口資金	18	14	4	1,246,000
教育支援資金	7	7	0	2,295,000
合計	30	26	4	4,781,000

・ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

申請件数：1件 申請金額：500,000円

②生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例貸付事業の実施

・新型コロナウイルスの影響を受け減収した世帯への資金の貸付

資金種類	貸付件数	金額
緊急小口資金	92	18,450,000
総合支援資金	73	35,350,000
合計	165 (うち外国人 36)	53,800,000

③小口資金貸付事業の実施

・低所得者等への資金の貸付

資金種類	新規貸付件数	金額
生活資金	3	85,000
つなぎ資金	10	380,000
合計	13	465,000

(6) 就労準備支援事業

○自立相談支援機関との連携を密に行い、プランに位置付けられた相談者に対し、主に支援メニューにおけるプログラムを実施した。

また、すぐに就労が難しいような就労支援対象者だけではなく、ひきこもりがちな相談者等のアウトリーチも積極的に行った。

- ・新規対象者数 2件
- ・プラン作成件数 2件
- ・支援修了者 1名
- ・継続支援実施延べ回数 201回

(7) 被保護就労支援事業（受託事業）

①事業の取り組み（概要）

- ・生活保護受給者のうち主に支援が必要と思われる18歳以上65歳未満で、就労が可能と思われる方について支援を行った。特に、ハローワーク同行、生活習慣を整えるため自宅訪問を行い、就職面接にも同行し自立を促した。

②具体的な取組み内容

- ・プラン作成件数 20件
- ・相談件数(自宅訪問・電話) 268件
- ・情報提供 1件
- ・ハローワーク同行支援 45件
- ・応募件数 21件
- ・就労件数 6件
- ・その他 判断能力が不十分の方に対しては、専門医の受診を促し、手帳発行支援を行った。また、障がい者雇用事業者への就労支援を行った。

3 福祉サービスや健康づくり事業の充実

(1) 高齢者福祉サービスの充実

○お洗濯支援事業(宇目支部)

- ・コインランドリーの管理運営と大きな洗濯物の洗濯代行サービスの実施

洗濯機	748回
乾燥機	3,086回

(2) 独居世帯への相談・見守り・終活などの支援

- 終活及び死後事務についての研修に参加し、今後の取り組みについて検討を行った。

(3) 毎日型配食サービス(上浦支部) 19,986食

(4) 障がい者福祉サービスの充実

①福祉機器の貸出(貸出件数)

福祉器具	佐伯	宇目	米水津	蒲江	合計
車イス	25	3	2	5	35
福祉体験用品	5				5

②移送サービス事業(宇目支部)

- ・ボランティアとの協働で移動が困難な方の送迎サービスの実施(今年度依頼なし)

(5) 子育て支援サービスの充実

①上浦子育て支援事業(上浦支部) 延べ60名

②チャイルドシート貸出事業(宇目支部)

- ・貸出件数 1件 保有台数 チャイルド用 3台 ベビー用 2台

(6) 健康づくり事業の充実

○高齢者の介護予防としての健康づくり事業

①「通りゃんせ」事業（佐伯支部） 参加者 延べ56名

ノルディックウォークを通じて仲間づくりや体力づくりを行い、健康寿命を延ばし、地域で元気に暮らす事を目的とし実施した。

・6月(1回)より毎月2回実施（年間17回実施、九電健康料理教室1人1回参加）

②「通りゃんせぷらす」事業（佐伯支部） 参加者 延べ103名

「通りゃんせ」事業のフォローアップとしてノルディックウォークを、楽しみながら、健康意識・きずな・体力づくりの継続を目的とし、実施した。

・4月より毎月1回実施（年間12回実施）

③元気アップ事業（上浦支部） 参加者 延べ506名（90回/年）

・上浦ふれあいプラザを会場とし、経験豊富な健康運動実践指導者によるストレッチ、筋力トレーニング、有酸素トレーニング、ヨガ等を取り入れた介護予防運動プログラムを毎月8回実施。

④体操教室 ひとつむぎ（本匠支部） 参加者 延べ106名（5回/年）

・地区住民を対象に、体操教室を通じて介護予防の推進をはかり、健康寿命の延伸へつなげる。市社協の作業療法士による専門性の高い内容を実施。また、住民同士の交流を図る。コロナ禍での開催であったため、感染対策を万全にして実施。

・住民の中からサポーターを募り、5名が「ひとつむぎサポーター」として運営サポートに携わってもらった。

⑤このゆびとまれ事業（宇目支部） 参加者 延べ95名（16回/年）

・健康体操や制作活動、レクリエーション、おやつ作り等を通して、健康・介護予防に関する意識の向上、身体機能・精神面の向上を図った。

⑥シニア世代元気事業（直川支部） 参加者 延べ338名（42回/2カ所）

・シニア世代を中心に健康寿命を延ばす事を目的として、ストレッチ体操等の介護予防への取り組みを行った。さらに地域に住む同世代と交流する事で、地域への関わりが増え、活動の範囲を広げることへとつながった。

⑦思いやりごはん「うめ」（宇目支部） 参加者 延べ13名（2回/年）

・一人暮らし高齢者を対象に、調理実習や会食を通じて社会参加や栄養改善の意識向上を図った。

⑧スマホ教室（直川支部）（7回/年）

・「スマホを教えてほしい」という方を対象にスマホの操作説明を行う。災害時や介護予防に役立つ機能などを説明する。合わせて脳トレや簡単な体操を行う事で介護予防促進を図った。

- ⑨「3 カフェテラス」・「3 カフェテラス」 in 渡町台 参加者 延べ 23 名 (2 回/年)
- ・高齢男性の居場所づくりへの取り組みとして、食への興味と役割を持てる暮らしの継続を視野に、料理教室を開催した。調理体験と参加者同士の交流を図り、次年度の自主活動団体立ち上げに向け、支援者の理解が深まった。その後、支援者を中心に 3 回目の料理教室が行われた。(参加者 10 名)

⑩佐伯地区「地域力アップ」懇談会

- ・マルショク佐伯店の閉鎖による生活環境の変化から見える課題を踏まえ、地域の集いについて佐伯小学校校区の代表区長と地区社協役員を交えた懇談会を開催。シニア世代の暮らしと現状、居場所づくりについて共通理解を深める過程において「地域を知ること！」を趣旨に「わくわくバザー」を開催。

⑪米水津わいわいプロジェクト (米水津支部) 参加者 延べ 247 名 (38 回/年)

- ・概ね 70 歳前後の高齢者を対象とした介護予防を目的とする体操・運動教室
簡単なヒップホップダンス取り入れた運動を行い皆さん楽しく交流も深めています。

4 権利擁護体制の充実

サービス利用に関わる権利擁護体制の整備

(1) 日常生活自立支援事業 (県社協受託事業)

○判断能力が低下した方への福祉サービスの利用援助や金銭管理、書類の預かりサービス

- ・新規契約件数 46 件 ・解約件数 33 件

日常生活自立支援サービスの契約件数									
支 部	佐伯	上浦	弥生	本匠	宇目	直川	鶴見	蒲江	合 計
契約件数	102	3	13	0	2	2	1	11	134

(2) 成年後見制度の利用促進

○佐伯市成年後見支援センターの運営

- ・運営委員会の開催 2 回 (5/26、3/15)
- ・受任者調整会議の開催 4 回 (5/18、7/20、11/16、3/15)
- ・情報交換会の開催 1 回 (9/21)
- ・相談対応実績 延べ 98 件
- ・広報・啓発

パンフレット作成・配布 (各関係機関)

単位民児協定例会等の会議に出席し、事業周知を行った。

その他、市報、社協だより、ホームページ、ケーブルテレビ等による広報を行った。

- ・センター職員による講師派遣を行った。
- 4/21 佐伯市介護支援専門員協会主催研修会
講義：「成年後見制度と実際」
内容：成年後見制度、佐伯市成年後見支援センターの事業紹介、法人後見事業
- 1/31 認知症対応力向上研修Ⅱステップアップコース（市包括主催）
講義：「成年後見制度について」
内容：成年後見制度、佐伯市成年後見支援センターの事業紹介、法人後見事業

○市民後見人養成講座の開催

- ・10日間（9/30～2/10） 12名（受講修了者）

○フォローアップ講座の開催

- ・市民後見人養成講座修了者のうち、市民後見人候補者名簿登録者を対象に実施した。
2回（第1回8/19 10名、第2回12/2 12名）

○法人後見事業

- ・新規法人後見受任実績

新規	類 型				実件数	累計件数
	後見	保佐	補助	計		
令和4年度	5	0	0	5	8	8

[IV] 安全安心なまちづくり

1 地域ぐるみの防犯・防災対策の推進

(1) 災害ボランティアセンターの設置・運営

- 設置・運営実績なし

(2) 地域防災講座への協力（講師派遣）と防災事業の実施

○地区社協や自治会等への講座実施

①宇目地区防災研修の実施（宇目支部）

- ・6/24 区長や民生委員、地区社協役員を対象に「心肺蘇生法・AED研修」を行った。また山間部である宇目地域は土砂災害などの自然災害が心配される為、「山間部での災害の備え」の研修も併せて行った。

②直川地域防災連絡協議会への協力（直川支部）

- ・11/13 大規模災害に備えて、地区住民を主体とした組織（直川消防団・社協・赤十字・直川ボランティア等）が出来上がり、非常時に備えた避難所訓練（避難所設営、パーテーション作り、簡易トイレ作り等）を実施した。

③地域防災力向上事業への協力（蒲江支部）

- ・丸市尾地区で南海トラフ地震を想定した避難訓練の支援、避難し援プラン（12件）の見直し、支援体制を整備した。また、「より迅速な避難誘導」を目指す仕組みとして「黄色いハンカチ作戦」を継続して実施した。

（3）防災教育プログラム事業の実施（佐伯支部・弥生支部・米水津支部）

○体験を通じ防災意識を高めるため、児童・生徒を対象にした防災教育プログラムの実施

- ・7/20 防災デイキャンプ
（避難所運営ゲーム/ハイゼックス炊飯） 上野小学校 5年生児童を対象
- ・9/14 学校主催の防災プログラムの支援
（津波/地震の講話/テントや簡易ベットの設営） 向陽小学校 5・6年生を対象
- ・10/21 佐伯南中学校主催の防災教育プログラムの支援
（避難所運営・テントや簡易ベッド・簡易トイレ設営）佐伯南中学校 2年生を対象
- ・11/12 防災デイキャンプ
（避難所運営ゲーム/炊き出し訓練） 切畑小学校 5・6年生児童、保護者対象
- ・12/2 防災訓練
（段ボールトイレ作り/ハイゼックス炊飯） 上野小学校 全校児童を対象
- ・2/27 防災炊き出し訓練
（講話/避難所設営/炊き出し訓練） 明治小学校 5・6年生 保護者を対象

（4）災害ボランティアネットワーク協議会の運営（会議2回、避難所運営訓練1回）

（5）災害支援に対応できる職員の育成

○災害ボランティア運営リーダー研修への参加

県社協が実施する研修に職員5名が参加し、大規模災害に備えるための必要な知識や技術などを学んだ。

○令和4年9月、台風19号への支援

- ・佐伯市全域の被害状況の把握
- ・延岡市社協との相互応援協定に基づき被災した家屋のがれき撤去等ボランティア活動を支援 職員数 3名 活動日数 1日
- ・木立にて被災した家屋のがれき撤去等を支援。職員数3名 活動日数 1日

○防災士養成講座への講師派遣を行った。

（6）防災標語づくり（弥生支部）

○『みんなで考える防災標語』として、H30年度から引き続き、防災標語を募集し、防災への意識づけを継続して行った。今年度は非常用持ち出し袋についての講話と防災にちなんだカルタづくりを行った。

(7) 緊急情報キット事業

- 高齢者等が万一倒れた時のために、かかりつけ医や薬等の情報を筒に入れ冷蔵庫に保管するキットを配付及びデータの更新作業を行った。7,958 世帯
- 28 件が緊急搬送の対応に役立った。

(8) 高齢者や子どもの見守り活動の推進

- 地域で行われる見守り活動の支援を行った。
 - ①地区社協配食サービスによる見守り支援 延べ 2,508 名
 - ②配食サービスによる見守り（上浦支部） 延べ 19,986 名
 - ③宇目あんしん見守り隊活動の支援（宇目支部）
子どもや高齢者を『自然なかたち』で見守ることができるよう、各関係団体へハガキを通じて見守り活動の啓発をした。 100 件
 - ④蒲江マンボウ隊の見守り活動支援（蒲江支部） 延べ 15 回
 - ⑤福祉推進員による見守り（蒲江支部） 43 地区

2 誰にでもやさしいまちづくりの推進

(1) 新たな移送サービスの検討

- 地域課題として高齢者の移動の心配が多い中で、多機関、専門職の連携による新たな移動の仕組みを検討した。
 - ・直川地区の移送課題を解決するため、福祉施設と協働で「直川地域福祉推進連絡準備会」を実施した。
 - ・コミュニティバスの再編成に伴い職員が乗車体験等を行い、利活用に関する助言や啓発支援を行った。

[V] その他の事業

(1) 社協の自主財源の確保の取り組み

- ①本会の行う各事業において、社協旗や財源旗を活用して積極的にPRし、自主財源となる会費への理解を進めた。
- ②自動販売機(9ヶ所)の設置売上による自主財源確保に取り組んだ。

(2) 職員の資質向上の取り組み

- ①職員のスキルアップを目的として、外部講師の招聘による研修会の企画や県内外の社協関係者との合同研修に職員を派遣して資質向上に努めた。
 - ・新任職員・新任管理職研修
 - ・市町村社会福祉協議会新任職員研修
 - ・市町村地域福祉実践発表会
 - ・成年後見制度事業研修

(3) 福祉現場実習生の受け入れ(人材育成)

- ①日本文理大学より、1名の実習受け入れ対応を行った。

(4) 地域福祉活動計画の進行管理

- ①佐伯市地域福祉活動計画推進協議会において、令和3年度分の佐伯市地域福祉活動計画の経過報告を行った。

<在宅福祉課>

1 介護保険事業の状況と取り組み

介護保険事業において、国は要介護者を対象とした介護保険制度に軸足を置き、介護予防事業は市町村に移管した。佐伯市においても自立支援の考え方に立った「介護予防・日常生活支援総合事業」（総合事業）を実施し、社協の各事業所では、要介護状態にならないための運動指導や認知症予防の取り組みを進めるとともに、近年注目されている歯科衛生士による口腔ケアを研修に取り入れ、職員の資質向上に努めた。

処遇改善加算や特定処遇改善加算を取得することで、職員に対して職務を明確にした。さらに新たな加算を取得し、処遇改善による資格手当等の増額を行いながら介護職員の定着を図った。

(1) 居宅介護支援事業（ケアマネジメント）

令和4年度は事業所の統合を行い、2事業所、15名の介護支援専門員（ケアマネージャー）で事業を行った。要介護者の依頼により居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、サービス提供事業者との連絡調整を行っている。総合事業プランについては、地域包括支援センターより積極的に受託し、地域住民の介護予防を支援した。

3月末プラン数：359件（介護319件・予防40件）

(2) 訪問介護事業（ホームヘルプ）

佐伯市全域を対象として運営を進めた。主に入浴・排泄などの身体介護や調理・洗濯・清掃などの生活支援を行った。また全て職員が行うのではなく、自立支援を目的として、できることは一緒に行うように支援した。

3月末利用者数：124名

(3) 通所介護事業（デイサービス）

令和4年度から3年間の指定管理を受け、上浦、宇目、直川の3事業所を運営。食事・入浴などの日常生活上の支援や生活機能向上のための運動等を提供した。また、介護予防教室「おげんき広場」については、上浦、直川、米水津の3事業所で作業療法士が中心となり、運動指導や認知症予防プログラムへ積極的に取り組んだ。

3月末利用者数：122名

2 障がい者(児)等を対象とした訪問介護事業（ホームヘルプ）

介護保険事業同様に、市と連携しながら市受託事業の障がい者福祉サービスや障害者総合支援法による身体障がい（児）者・知的障がい（児）者等への訪問介護サービスを提供した。

3月末利用者数：58名

3 受託事業の状況

(1) 高齢者生活福祉センター居住部門及び生活支援ハウス運営事業

入居者に対し生活援助員を配置し、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、安心して健康で明るい生活を送れるように支援した。

3月末入所者数：22名

(2) 地域包括支援センター運営業務（受託事業）

令和3年度から第2.3圏域の地域包括支援センターを受託し、事業を実施した。2年目となり、相談件数も増えている。圏域ごとに設置され、住民にとって相談しやすい環境が整った。

第2圏域 弥生、本匠、宇目、直川 第3圏域 鶴見、米水津、蒲江

年延べ相談件数：2055件(第2圏域 940件・第3圏域 1115件)月平均 171件

主な相談：介護 1072件 介護予防・生活支援 466件 認知症 121件

医療 61件 権利擁護 52件

4 処遇改善への取組み

介護職員処遇改善加算Ⅰ、特定処遇改善加算は継続して算定。新たな加算であるベースアップ加算を令和4年10月から取得し、職員のさらなる処遇改善に努めた。

5 佐伯市SOSネットワーク事業への協力

佐伯市との「佐伯市SOSネットワーク事業に関する協定」に基づき、徘徊事案が発生した場合、相互に協力する体制を築くことで、対象者が安心して暮らせる地域社会づくりへの協力を行った。

<施設福祉課>

佐伯市特別養護老人ホーム豊寿苑

豊寿苑の理念『私たちは、入苑者の方々の「その人らしい生活」を大切にし、快適な暮らしができるよう支援します』のもと、入苑者の生活の質を向上させることに努め、重度者に対応した職員のスキルアップと介護技術の向上のための研修や新任職員を対象とした研修を強化した。

重点事業のノーリフティングケアの推進については、取り組みから3年が経過し、スライディングシート（ボード）の活用も定着した。

感染症対策については、新型コロナウイルス感染防止のため、窓越し面会、職員の出勤時の検温、体調管理・体温測定記入表の活用（一日二回の体温測定）を継続して行ったが、施設内でクラスターが発生した。

施設行事は、盆踊り・花火大会や家族交流会など外部との交流事業は、新型コロナウイルス感染防止のため前年度に引き続き中止とした。しかし、その中でも各フロアで工夫を凝らし、小規模ではあるが、季節の行事などを行った。

また、豊寿苑での様子を地域へ発信するため、広報誌やホームページ、フェイスブックを活用し、リアルタイムで苑での活動を紹介した。

1. 入苑者の概要（各年度末統計）

（1）年間の平均入所者数

年 度	従来型 (79)	ユニット型 (21)	合計 (100)
令和4年度	71.50 人	20.92 人	91.42 人
令和3年度	74.33 人	20.17 人	94.50 人
令和2年度	76.58 人	20.33 人	96.91 人

（2）年間の入所率・稼働率

特養

年 度	入所率	稼働率
令和4年度	92.8%	88.2%
令和3年度	95.0%	90.6%
令和2年度	97.3%	94.5%

短期入所（ショートステイ）

年 度	実利用者数	延べ利用者数	稼働率
令和4年度	33 人	824 人	15.3%
令和3年度	19 人	501 人	11.1%
令和2年度	12 人	569 人	18.3%

（3）平均年齢

性別	従来型	ユニット型
男 性	82 歳 3 月	89 歳
女 性	87 歳 8 月	89 歳 4 月
全 体	86 歳 6 月	89 歳 3 月

(4) 要介護度別の割合

要介護度	R4 年度 入苑者の割合		R4 年度 全 体	R3 年度 全 体
	従来型 (79)	ユニット (21)		
要介護 1	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
要介護 2	1.37%	0.00%	1.07%	3.20%
要介護 3	16.44%	33.33%	20.21%	27.20%
要介護 4	52.05%	33.33%	47.87%	33.70%
要介護 5	30.14%	33.34%	30.85%	35.90%

2. 職員の研修状況

①外部研修

期 日	研修名	場 所	職 種
R4.6.11	リフトリーダー養成研修	社会福祉介護研修センター	介護長・介護主任
R4.9.7	改正育児・介護休業法説明会	オンライン	苑長・事務長
R4.9.15	高齢者権利擁護等推進事業看護実務者研修	大分県看護研修会館	看護主任
R4.10.19	高齢者権利擁護等推進事業看護実務者研修	大分県看護研修会館	看護主任
R4.10.31	福祉避難所実務者研修	オンライン	苑長・事務長
R4.11.2	社会福祉施設向け感染症対策研修	和楽	苑長・事務長
R4.12.6～9	ユニットリーダー研修実地研修	特養老人ホーム くわのみ荘	介護主任
R4.11.9	高齢者権利擁護等推進事業看護実務者研修	大分県看護研修会館	看護主任

②内部研修

期 日	内 容	職 種
R4.5.18	身体拘束研修(異動者・新規雇用者対象)	介護職員
R4.5.23	身体拘束研修(異動者・新規雇用者対象)	介護職員
R4.6.17	身体拘束研修(異動者・新規雇用者対象)	介護職員
R4.5	現任研修(人権・接遇について)	全職員
R4.7	現任研修(食中毒について)	全職員
R4.6.8	新任職員研修(豊寿苑物品管理について)	介護職員
R4.6.15	新任職員研修(介護に関する基礎的理解について)	介護職員
R4.6.22	新任職員研修(バイタルサインについて)	介護職員
R4.6.29	新任職員研修(コミュニケーション、技術・接遇について)	介護職員

R4.7.6	新任職員研修(持ち上げない移動・移乗の技術について)	介護職員
R4.7.13	新任職員研修(食事について)	介護職員
R4.7.20	新任職員研修(入浴について)	介護職員
R4.7.27	新任職員研修(排泄について)	介護職員
R4.8.3	新任職員研修(褥瘡予防について)	介護職員
R4.8.10	新任職員研修(モニタリング、チェック表について)	介護職員
R4.9	現任研修(褥瘡予防について)	全職員
R4.11	現任研修(認知症・看取りについて)	全職員
R4.12	現任研修(感染症・身体拘束・虐待防止・急変時の対応について)	全職員
R5.1	現任研修(感染症・食中毒について)	全職員
R5.3	現任研修(身体拘束・リスクマネジメントについて)	全職員

3. 新型コロナウイルスによるクラスターの発生について

- ・ 期 間 : 令和4年9月14日～10月9日
- ・ 感染者数 : 入所者 38名、職員 23名

4. 「福祉サービス第三者評価」の受審

- ・ 日 時 : 令和4年5月24日
- ・ 調査方法 : 評価委員2名による訪問調査
- ・ 評価結果 : A評価

(62項目中、出来ている62項目、十分でない0、出来ていない0)

5. 介護職員現場実習生の受け入れ(人材育成)

高校からの依頼により、介護福祉士取得のための現場実習生の受け入れを行った。
(佐伯豊南高校より5名)